

「Zenly」って何のことか分かりますか？ ～自分の居場所を友達に常に公開～

皆さんは「Zenly（ゼンリー）」というスマホアプリをご存知でしょうか？

このアプリは、スマホの位置情報を用いて、つながっている友達の現在地を、地図上で24時間確認できるものです。2015年にフランスのZenly社が開発し、日本では2018年頃から、特に高校生など10代の若者を中心に人気を集めていて、2019年12月のAppStore（アップル社の運営するアプリのダウンロードサービス）のソーシャルネットワーキング部門のランキングでは、LINEを超えて1位となっています。



Zenlyの主な機能は、つながっている友達と常に位置情報などを共有し合うことです。アプリの地図上には、友達の現在地や滞在時間が表示されるので、「〇〇は今、自宅にいる」や「〇〇は朝からアルバイトをしている」、「〇〇と△△は2時間前から一緒に図書館にいる」などと、お互いの生活がほぼ丸見えになってしまいます。スマホの電池残量や移動速度も分かるため、「バッテリー切れで連絡できなかった」や「電車に乗っていたから電話に出られなかった」のような言い訳もできません。

（※自分の居場所を一時的に隠すような設定もありますが、その設定にしていること自体は友達に分かってしまいます。）

若者たちはZenlyでたまたま近くにいることが分かった友達に「一緒に遊ぼう、帰ろう」と声をかけたり、混雑するような場所での友達との待ち合わせに使ったり、また、「どこにいるか分かると、誘っていいかダメかわかるので楽」や「返信がなくても、アルバイト中だからだと分かるから安心」などの理由もあるようです。

おそらく多くの大人は、プライベートを明けすけにする、このようなアプリに拒否感を示すと思います。もちろん、自分の行動を公開することに抵抗を感じる若者も数多くおり、現時点では「若者みんなが使うアプリ」というほどは普及していません。

しかし、LINEのビデオ通話で「友達と一緒に」勉強し、Twitterで思ったことを即座につぶやく、Instagramのストーリーズで自らの姿をライブ中継する…、このようなお互いの動向を常にシェアしている若者にとっては、今さらZenlyで位置情報を共有したところで、それほど大きな違いはないのかもしれない。

ただし、若者たちは友達限定だからと安心しているのかもしれませんが、どのような関係であっても、他人に自分の位置情報を公開するリスクについてはよく考える必要があります。



アプリのダウンロードページより
(App Store)

<参考>・竹内和雄「教師や保護者は知らない!? 子どものネット世界最前線」

(明治図書、『道徳教育2月号 SNS最前線—情報モラルをどう扱うか—』、2020年)

本メールに関して御質問、お問い合わせがある場合は下記まで御連絡ください。

【担当】福井県安全環境部県民安全課 角田

☎0776-20-0745（直通） メール：h-kakuda-um@pref.fukui.lg.jp